

## 「現場で生かせる技術（ポンプ）」

近年、回転機械の研究開発・設計分野では CFD や強度・振動解析などの解析技術が広く取り入れられているが、これが製品となり、実際に現場で回転機械を運用していく際には、機械の特性、周辺機器とのマッチング、運転管理等様々な要素に対する知識・経験が要求される。本 105 回セミナーでは回転機械エンジニア及び研究者を中心に現場で必要となる知識を身につける、その一端として、各分野の専門家により、特にポンプを中心に具体例やトラブル例を交えて紹介する。

- ・日時：2012 年 12 月 18 日（火） 10：00～17：00
- ・会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 62号館W棟会議室（〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1）
- ・参加費（税込）：会員 30,000 円、非会員 40,000 円、学生 5,000 円
- ・協賛（予定）  
（一社）日本機械学会、（一社）火力原子力発電技術協会、（一社）は配管技術研究協会、  
高圧ガス保安協会、（一社）日本鉄鋼協会、（公社）石油学会、（社）日本バルブ工業会、  
（公社）日本船舶海洋工学会、（公社）化学工学会、石油化学工業会、  
（公社）腐食防食協会、（社）日本水道協会、（公社）日本プラントメンテナンス協会

### ・プログラム

時間	テーマ	講師（敬称略）
10：00 ～ 11：50	<b>海水ポンプの腐食について</b> 海水ポンプの材料は時代と共に変遷を経ているが、材料による腐食の問題は常につきまとうテーマである。幾つかの実例を上げ、これを解説する。	宮坂松甫 (株)荏原製作所
12：50 ～ 14：00	<b>現場における回転機械の状態監視（軸受管理）</b> 回転機械における状態基準保全を用いたデータ評価や早期損傷検知について実例と共に紹介する	亀井稔 SPM Instrument Japan(株)
14：10 ～ 15：30	<b>動力伝達装置と最近の技術紹介</b> 回転機械の周辺技術である動力伝達装置について歯車減速機や油圧クラッチ等を実例と共に紹介する	岩本安弘 (株)日立ニコトランスミッション
15：40 ～ 17：00	<b>ポンプの振動について</b> ポンプの振動についてその現象と原因との関係について実例を上げて解説する。	江口真人 (株)荏原製作所

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

- ・ 申込方法：E-mail または FAX で、①参加者名、②連絡先住所・電話番号・Email、③社名（学校名）・所属、④会員／非会員の別 を明記の上お申し込み下さい。お申し込み後請求書と受講票を郵送します。
- ・ 参加費は事前に、銀行振込にてお支払い下さい。
- ・ 振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 1142994 一般社団法人 ターボ機械協会
- ・ 申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル  
ターボ機械協会事務局（TEL：03-3944-8002、FAX：03-3944-6826、E-mail：[turbo-so@pop01.odn.ne.jp](mailto:turbo-so@pop01.odn.ne.jp)）
- ・ 申込期限：定員になり次第締切ります。申込後のキャンセルはお断りしております。

※ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 5 ポイントです。」

宛先 : Fax. 03-3944-6826  
一般社団法人ターボ機械協会 受付係

ターボ機械協会 第 105 回セミナー (平成 24 年 12 月 18 日 火曜日)

「現場で生かせる技術 (ポンプ)」参加申込書

参加者ご氏名	① ② ③ ④ ⑤
連絡先住所・TEL・FAX・ E-MAIL	(〒      -      )  TEL :  E-MAIL :
会社名・ご所属	会社名 : ご所属 : ① ② ③ ④ ⑤
会員・非会員	会員   o r   非会員  (いずれかに○をつけてください)

上記                      名の参加を申し込みます。